

給水開始50年のあゆみ

毛呂山町の水道事業は昭和38年に創設され、昭和40年に給水を開始しました。以来、毎日の暮らしや産業に欠かせない水道水を送り続けています。

本町は、自己水源を毛呂川・大谷木川・浅井戸に求め、また、埼玉県水道用水供給事業により県水を受水するなどして、安定した水道水の供給に努めています。

さらに、より安全で良質な水づくりのため、苦林浄水場に紫外線処理施設を導入し、平成23年4月から供給を開始しています。

役場水道課 ☎295-2112 内線160

給水状況 (H27.3.31 現在)

| | |
|-----------|---------|
| 給水人口 | 35,034人 |
| 給水戸数 | 15,681戸 |
| 普及率 | 99.7% |
| 計画給水人口 | 39,200人 |
| 計画一日最大給水量 | 17,200㎥ |
| 一日最大配水量 | 14,178㎥ |
| 一日平均配水量 | 12,453㎥ |

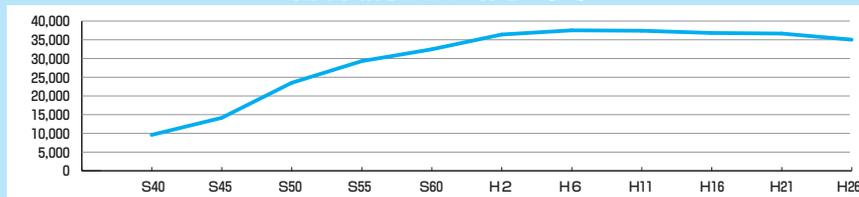
配水施設概要

| 名称 | 貯水量 |
|-----------|--------|
| 低区配水池 | 2,300㎥ |
| 高区配水池 | 3,000㎥ |
| 西戸配水池 | 2,500㎥ |
| 目白台配水池 | 2,000㎥ |
| 本郷配水池 | 3,000㎥ |
| 大谷木浄水場配水池 | 100㎥ |
| 県水受水池 | 4,800㎥ |

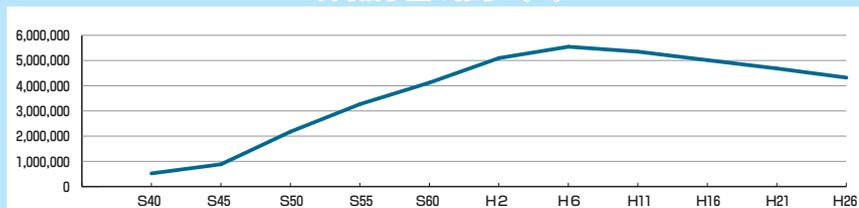
浄水施設概要

| 浄水場名称 | 所在地 | 水源 | 処理方法 | 処理能力 (㎥/日) |
|--------|------|-------------|-------|------------|
| 苦林浄水場 | 苦林 | 地下水(浅井戸) | 紫外線処理 | 7,188 |
| 金塚浄水場 | 毛呂本郷 | 毛呂川(伏流水) | 緩速ろ過 | 2,882 |
| 大谷木浄水場 | 大谷木 | 大谷木川上流(伏流水) | 緩速ろ過 | 100 |

年度末給水人口の推移 (人)



年間給水量の推移 (㎥)



ごあいさつ

本町の水道事業は、昭和40年4月に給水を開始して以来、本年で50年という節目の年を迎えました。

この間、急激な人口増加や増大する水需要に因應するため、給水区域の拡大、施設の拡張などを重ね、現在に至っています。

しかしながら、近年では、水道事業を取り巻く社会環境は、人口減少や節水機器の普及などによる水道料金収入の減少、水道施設の老朽化に伴う更新需要の増大など、厳しさを増しています。さらに、平成23年3月には東日本大震災が発生し、災害時のライフラインとしての水道施設の機能確保がより強く求められてきています。これからも、健全経営のもと、この50年間で築かれてきた水道施設を維持管理しつつ、良質な水の安定供給を継続し、次世代へ引き継いでいかなければなりません。

今後におきましても、将来にわたり安全で信頼される水道事業の推進に全力で取り組んでまいりますので、町民の皆さまのより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

毛呂山町長 井上健次

年月日

できごと

昭和14年4月1日 毛呂村と山根村が合併し、毛呂山町となる

昭和30年4月1日 旧毛呂山町と川角村が合併し、新毛呂山町が誕生

昭和38年11月29日 荒川水系毛呂川の水利使用許可取得 1600㎥/日

昭和38年12月28日 広域簡易水道事業創設認可

昭和40年4月1日 計画給水人口9600人 計画最大給水量1435㎥/日(金塚浄水場創設ろ過池3池、浄水池、ポンプ室、配水池(本郷)築造、取水・送水ポンプ各2台設置)

昭和43年度 給水開始

給水区域(毛呂本郷、小田谷、長瀬、前久保、岩井、葛貫、川角、大谷木の一部、阿諏訪の一部)

第一期拡張事業

計画給水人口1万3100人 計画最大給水量2620㎥/日(第2水源増設、ろ過池1池増設、送水管増設、取水ポンプ2台、送水ポンプ1台増設)

町内の主な水道施設



〈金塚浄水場（給水開始当時）〉



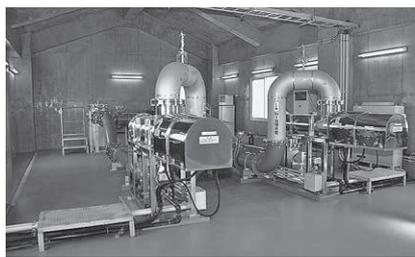
〈苦林浄水場〉

計画取水量 7,188m³/日
 取水ポンプ台数 常用5台（予備4台）
 浄水池 2池（RC構造）
 貯水量 2,400m³
 取水井 4井（予備 1井）



〈金塚浄水場（現在）〉

計画取水量 2,882m³/日
 取水ポンプ台数 常用2台（予備2台）
 浄水池 2池（RC構造）
 貯水量 147m³
 ろ過池 4池（処理水量 882m³/池）



〈苦林浄水場 紫外線処理施設〉

設置年度 平成22年度
 紫外線照射量 10mj/cm²
 処理水量 7,500m³/日・基
 装置基数 2基
 緊急遮断弁（電動バタフライ弁） 2台
 ストレーナー バケット式ストレーナー



〈本郷配水場〉

設置年度 平成14年度
 配水池 2池（SUS構造）
 寸法（1号）内法18.0m×9.0m高さ11.1m
 寸法（2号）内法12.0m×12.0m高さ11.1m
 有効水深（1号、2号）10.0m
 有効貯水量（1号）1,600m³、（2号）1,400m³
 緊急遮断装置（地震対応型）設置



〈目白台配水場〉

設置年度 平成8年度
 配水池 1池（SUS構造）
 寸法 直径17.9m 高さ8.6m
 有効水深 8.0m
 有効貯水量 2,000m³
 緊急遮断装置（地震対応型）設置

昭和44年11月19日
 昭和45～47年度
 昭和51～53年度
 昭和55年6月
 昭和60～63年度
 平成元～8年度
 平成3年4月
 平成21年3月
 平成22年度
 平成23年3月
 平成27年3月
 平成27年4月1日

荒川水系毛呂川の水利使用許可取得 2,882m³/日
 第2期拡張事業
 給水区域／毛呂山町全域（権現堂・宿谷の全区域、滝ノ入・阿諏訪・大谷木の各一部区域を除く）、計画給水人口3万人、計画最大給水量9000m³/日（沈殿池築造（金塚浄水場）、苦林浄水場創設 1号井戸、滅菌室、浄水池、ポンプ室兼管理室築造、取水ポンプ3台、配水ポンプ6台設置）
 第3期拡張事業
 給水区域／毛呂山町全域（権現堂の全区域、滝ノ入・阿諏訪・大谷木の各一部区域を除く）、計画給水人口3万3000人、計画最大給水量1万6500m³/日、（2号・3号井戸、管理棟築造 低区・高区配水池築造、テレメーター計装設備、遠隔操作盤設置）
 鎌北簡易水道事業創設
 給水区域／大谷木、権現堂の各一部区域、計画給水人口150人 計画最大給水量100m³/日
 第4期拡張事業
 給水区域／毛呂山町全域（権現堂の全区域、大谷木の一部区域を除く）、計画給水人口3万6000人、計画最大給水量1万9000m³/日（4号井戸、西戸配水池築造、西戸送水ポンプ3台設置、滅菌室改造（塩素ガスから次亜塩素に切替））
 第5期拡張事業
 給水区域／毛呂山町全域（権現堂の全区域、滝ノ入・阿諏訪・大谷木および宿谷の各一部区域を除く）、計画給水人口4万3200人、計画最大給水量2万3000m³/日（県水受水場築造 毛呂山ニュータウン水道施設築造（送水施設、配水池、配水管布設））
 県水の受水を開始（5000m³/日）
 毛呂山町水道事業地域水道ビジョン策定
 第5期拡張事業（1次変更）
 給水区域／毛呂山町全域（権現堂・滝ノ入・阿諏訪・大谷木および宿谷の各一部区域を除く）、計画給水人口3万9200人、計画給水量1万7200m³/日（給水区域の拡張（鎌北簡易水道事業を統合）、浄水方法の変更（紫外線処理施設））
 苦林浄水場内に紫外線処理施設が完成
 毛呂山町水道事業ビジョン見直し
 給水開始50周年（毛呂山町合併60周年）